

# 飛べ！ プロペラ飛行機

幸田・豊坂小

幸田町豊坂小学校の三年生約七十人が四日、ゴム動力のプロペラ飛行機を組み立てて飛ばした。ゴムや風の力を学ぶ理科の授業の一環で、自作の飛行機が体育館内を舞うと、歓声が上がった。

児童らは、割り箸や発泡スチロール製の翼、プラスチック製のプロペラや輪ゴムなどの部品を組み立て、それぞれ飛ばして、滞空時間や距離を競った。長谷愛音さん(八)は「とつても楽しかった。プロペラをいっぱい回して、斜め上に投げると飛行機がきれいに飛んだ」と笑顔を見せた。

地元の大栗地区の住民らでつくる「六栗西山森の道整備隊」が企画。自動車の樹脂部品加工などを手がける「鈴木化学工業所」から、飛行機九十セットを提供してもらった。

同社の小幡和史社長(四七)は「細かな部品一つ一つが機能しないとプロペラ飛行機がうまく飛ばないことから、自動

住民ら企画、地元企業がセット提供



車も一つ一つの小さな部品で成り立っていることを学んでもらえたら」と話す。

児童らは、整備隊が林道や里山などを手入れし、町内を一望できる広場で飛行機を飛ばす。(服部壮馬)

ゴム動力のプロペラ飛行機を飛ばす児童＝幸田町野場の豊坂小で